

弊社取り扱い装置の不具合に関する弊社のレポート

現象・原因と解決方法

メーカー(国)/装置名/発生・検出日/解決日/対策会社 /現象:、解決・処置方法:/弊社の評価など

◆ CyberCooler(台湾)-i N E X社(代理店)/CyberCoolerFAN 4x4x2 2ballBearings 保証5年/2000年6月/
現象:5年保証で販売の2ボールベアリングにもかかわらず、1~数ヶ月の使用で軸とベアリング磨耗し錆び発生。
処置:まったく使用不可。返品にも応じず。このような会社が製造・販売をすることを絶対に許してはならない。

i N E X社には製品・対応のすべてを日本国内で公表することを通告済み。/最悪な会社。日本製に勝るものなし

◆ T D Systems(USA)社/SCSI-STOR・SCA ミラーモデル/(発売開始'97Q3より)'1999Q3/1999Q4/Controlware Corp./
現象:ドライブ2台への電源供給を1つの電源でおこなっているため、どちらか1台を抜き差しするとReadyのドライブもトリップしてシステムダウン(OS)する。

処置:弊社にて電源回路のパターンをカットして2台のドライブを別経路とし、電源を2つにして動作良。

メーカーは不誠実で対応せず。メーカーにこの不具合を通知したら、webより製品を削除し、一切の交渉に応じず。
/取引は要注意

◆ ACARD(Taiwan)社/ARS-2012PEL/大容量のHDDにて/未定/ACARD/

現象:ドライブ2台への電源供給を1つの電源でおこなっているため、どちらか1台を抜き差しするとReadyのドライブもトリップしてダウンする。

処置:6/17/2004現在検証中。/過去も現在も、対応と処置は適切に行う会社ですが、一般的に製品の設計・生産後の最終検査があまいため、Bugあり。

◆ ACARD(Taiwan)社/AEC-67160M Mac用/ARS-2012PE ウルトラワイド SCSI ミラーをAEC-67160M Mac用U160ホストアダプタで使用不可 2001年11月/不明/ACARD/

現象:ACARD社のUW・SCSI ミラーを、Macに増設した同社のU160ホストアダプタに接続して使用を試みるが動作せず。

処置:AEC-67160M(Mac用)にBugあり、UW・SCSI Mac用のアダプタAEC-6712WMでのみ動作可。

◆ ACARD(Taiwan)社/ARS-2012E/上側HDDが不良表示/未定/ACARD/

現象:上側のHDD故障表示でドライブ交換するが、同様の現象となる。

処置:メーカーは部品がなく、修理不能。ARS-2012PEあるいはPELと代替交換にて回避。

◆ ACARD(Taiwan)社/ARS-2016EB/ホストPCがSCSI ID番号を誤った値で認識する/解決不可/ACARD/

現象:これはSeagate社のBarracuda8と9のモデルでのみ発生。

処置:メーカーは処置できず、修理不能。Boot時にBarracudaから出される信号(不正常とメーカーが知っている)によって、ARC765のChipが誤認識する。DIPスイッチを1にすると9としてSCSIIDが認識される。

機能は問題なしとメーカーの弁ですが、.....

◆ Accordance(Taiwan)社/ARAID99-1000LF/HDDが不定期にMasterとなったりSlaveとして認識される/処置済/ Accordance/

現象:これはメーカー出荷時の付属ジャンパーコネクタを使用した時のみ発生。

処置:コントローラのジャンパーコネクタを交換すれば良となる。コネクタピンのゆるみ。

◆ Micropolis (シンガポール) /Tomahawk ウルトラ SCSI 4345 (4.3GB) および 3391 (9.1GB) / 1997年1月から12月の倒産まで/

現象：容量の最後のエリアでメディア不良によるリトライの多発。1997年4月までは検査をパスしたHDDを出荷していたが、5月分からは全品不良を承知で出荷。1997年2月には銀座事務所を3日で撤収。

処置：単体で使用は可能ですが、レイドには使用不可。かなりの確立でメディア不良。S/Nで製造年月を知ることが出来ます。SNの1番最初の番号は年で(1999) 2番目は月で1から9(10月は0、11はA、12はB) 94xxxxxまでは比較的良、95xxxxxから9Bxxxxxは不良。1997年12月に計画倒産。倒産後に一部の窓口がいて、シンガポールの工場に山積みとなっていた不良HDDをすべて売却。ラベルは上に貼られ2枚となっています。このときの製品のSNは9Aと9Bで、はがすと95から90まで。詐欺行為に近いと感じています。

◆ Micropolis (USA) /5.25" 1991 (9.1GB) /1996年/Micropolis、Workmanship

現象：9.1GB中の8GBを越えてデータが書き込みされるとUncorrectable Read Error多発。

処置：Total Capacityを8GBに縮小して使用すると問題なく動作いたしますが、Micropolisへ修理(USA)依頼しても修理品も不良。弊社は痺れをきらして3.5" Tomahawkへの交換を要求(1997年)して交換が進みましたが、上記の通りTomahawk(3391NTとして代替出荷)も不良でさらに品質悪化。1991の方がまだ良。

◆ Adjile 社 (USA) /RAID Enclosure の SAFTE ボード /2003年～現在発生中/Workmanship

現象：レイドで、あるドライブチャンネルにSCSIドライブをDaisy接続で使用し、その最終端にSAFTEボードを接続すると、SAFTEボードが接続されているドライブチャンネルのどれかのドライブ故障が表示される。データ転送が輻輳すると発生するが、通常の頻度では再現せず、ドライブ故障と錯覚するかも。

処置：ドライブの故障ではないので、何度交換しても再発します。SAFTEボードのみを独立したドライブチャンネルに接続し、ドライブは一切接続しないこと。メーカーに通告してもトラブルの認識をせず、改修見込みなし。

◆ SSI 社 (Taiwan) /N,W の Tray & Receiver (SI024,SI125,SI126) /1996～/Workmanship

現象：Narrow,Wideのドライブを使用したレイドで、トレイの不良でHDDがFailedとなる。

これはSSI社が途中からReceiverの電源ピン1から4を太くしたため、トレイのコネクタのメスのピンが広がってしまい、ピン1から4で接触不良をおこしてしまう。このため、ドライブは“NotReady”で“DriveFailed”となります。この故障はトレイの抜き差しを頻繁に行うとより多く発生する。

処置：Receiver、Receiverのコネクタあるいはボードを交換する必要があります。

問題：台湾の会社にありがちな、情報開示、警告等一切無く原因が中々特定せず。その他メールでの質問に対する返事一切なし。対応最悪

◆